

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2014-30712(P2014-30712A)

【公開日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2013-142852(P2013-142852)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 8 F

A 6 3 F 7/02 3 3 6

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定数の遊技球を内部に封入し、発射した遊技球数と回収した遊技球数とを管理しながら遊技を行う循環式遊技機において、

発射位置の遊技球を遊技領域に発射する発射動作を行う発射手段と、

前記発射位置に遊技球を 1 個ずつ送り出す球送り手段と、

前記発射位置へと送り出された遊技球を検出する発射球検出手段と、

前記発射手段により遊技球を発射する際の発射強度を調節する発射強度調節手段と、

発射操作の有無を検出する操作検出手段と、

前記球送り手段により前記発射位置へと遊技球を送り出す時点の前記発射強度を記憶する球送り時発射強度記憶手段と、を備え、

前記発射手段は、少なくとも、前記発射位置に遊技球があれば、前記操作検出手段の検出状態に拘わらず該遊技球を発射する構成とし、該発射時に前記操作検出手段による検出状態が未検出である場合は、前記球送り時発射強度記憶手段が記憶する前記発射強度に応じて遊技球を発射する

ことを特徴とする循環式遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 1 記載の遊技機は、

所定数の遊技球を内部に封入し、発射した遊技球数と回収した遊技球数とを管理しながら遊技を行う循環式遊技機において、

発射位置の遊技球を遊技領域に発射する発射動作を行う発射手段と、

前記発射位置に遊技球を 1 個ずつ送り出す球送り手段と、

前記発射位置へと送り出された遊技球を検出する発射球検出手段と、

前記発射手段により遊技球を発射する際の発射強度を調節する発射強度調節手段と、

発射操作の有無を検出する操作検出手段と、

前記球送り手段により前記発射位置へと遊技球を送り出す時点の前記発射強度を記憶する球送り時発射強度記憶手段と、を備え、

前記発射手段は、少なくとも、前記発射位置に遊技球があれば、前記操作検出手段の検出状態に拘わらず該遊技球を発射する構成とし、該発射時に前記操作検出手段による検出状態が未検出である場合は、前記球送り時発射強度記憶手段が記憶する前記発射強度に応じて遊技球を発射する

ことを特徴とする循環式遊技機である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項1に記載の循環式遊技機では、球送り手段によって遊技球が発射位置に送り出されれば、該送り出した後の操作検出手段の検出状態に拘らず、球送り手段が遊技球を送り出した時点の発射操作の量に応じて発射位置の遊技球を発射する。これにより、発射位置（発射ルール上）に遊技球が残存することを防止し、循環式遊技機においては、IN数とOUT数の関係性を正常に保ち、意図せず発生する不要な異常報知が回避され、遊技者に不快な思いをさせることがない。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】